

問1 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？

1. 明応の政変 2. 元寇 3. 観応の擾乱 4. 応仁の乱

問2 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

1. 国一揆 2. 島原の乱 3. 土一揆 4. 一向一揆

問3 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？

1. 後白河天皇 2. 後鳥羽天皇 3. 後醍醐天皇 4. 後深草天皇

問4 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

1. 能楽 2. 水墨画 3. 書院造 4. 枯山水

問5 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

1. 伊勢国 2. 近江国 3. 大和国 4. 山城国

問6 守護大名を倒し、約100年間にわたって民衆による自治が行われた現在の石川県にあたる地域はどこか？

1. 大和国 2. 加賀国 3. 山城国 4. 伊賀国

問7 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？

1. 享徳の乱 2. 観応の擾乱 3. 応仁の乱 4. 文明の乱

問8 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 問丸 2. 馬借 3. 車借 4. 座

問9 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？

1. 後醍醐天皇 2. 光厳天皇 3. 後村上天皇 4. 後亀山天皇

問10 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？

1. 山城国一揆 2. 正長の土一揆 3. 一向一揆 4. 土一揆

問11 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？

1. 撰銭令 2. 合い札 3. 勘合符 4. 通行手形

問12 室町時代、農民たちが借金の帳消しを求めて、高利貸しなどを襲撃した出来事を何という？

1. 土一揆 2. 国一揆 3. 一向一揆 4. 島原の乱

問13 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

1. 15世紀 2. 17世紀 3. 16世紀 4. 14世紀

問14 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？

1. タイ 2. 中国 3. フィリピン 4. 朝鮮

問15 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 枕草子 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 二条河原の落書

問16 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？

1. 洋室 2. 座敷 3. 茶室 4. 和室

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 問1 | 答え 4 応仁の乱 | この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。 |
| 問2 | 答え 3 土一揆 | 「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借用書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。 |
| 問3 | 答え 3 後醍醐天皇 | しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。 |
| 問4 | 答え 4 枯山水 | 枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。 |
| 問5 | 答え 2 近江国 | 1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。 |
| 問6 | 答え 2 加賀国 | 加賀国では、一向一揆が勢力を拡大し、ついに守護大名を追放することに成功しました。その後、約100年もの長い間、武士や農民たちが話し合いを通じて村を運営する自治が実現しました。これは、当時の日本において珍しい「百姓の持ちたる国」と呼ばれる現象でした。 |
| 問7 | 答え 3 応仁の乱 | 約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。 |
| 問8 | 答え 2 馬借 | 馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせ、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。 |
| 問9 | 答え 1 後醍醐天皇 | 武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。 |
| 問10 | 答え 3 一向一揆 | 一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。 |
| 問11 | 答え 2 合い札 | 勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。 |
| 問12 | 答え 1 土一揆 | 土一揆は、主に農民たちが団結して、高利貸しである土倉や酒屋を襲撃し、借用書を破棄させるなどして借金の無効を訴えた運動です。 |
| 問13 | 答え 1 15世紀 | 15世紀に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。この国は、東アジアの海域ネットワークの中心として、中国や日本、東南アジアとの中継貿易によって大きな繁栄を遂げました。 |
| 問14 | 答え 2 中国 | 中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。 |
| 問15 | 答え 4 二条河原の落書 | 二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。 |
| 問16 | 答え 4 和室 | 和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。室町時代に成立した様式がベースとなっており、その後、江戸時代などを通じて人々の生活様式に適したものと変化してきました。現在においても、伝統的な生活空間として多くの家に親しまれています。 |